

第5回理事会議事録

令和5年10月12日(木) 13:30~14:30

広島県PTA連合会事務局

出席:(理事) 橋本・山本・岩本・名古屋・生田・立石・磯道・小松・河本・畠山・柏崎・石橋・西本・脇原・森重・池岡・渡辺

(監事) 浦上・本多・下土居

(オブザーバー) 山本

欠席:(理事) 村上・山下・吉永

(定数確認)

1 開会 会長挨拶

2 本日の日程説明

09:30~ 保険会議
10:30~ 三役会
13:30~ 理事会
14:30~ 委員会
14:30~ 会計監査
16:00~ 広島大会打ち上げ

座長(会長) 司会(立石副会長) 記録(事務局) 議事録署名人(脇原)(渡辺)
※会則第40条 ※会則第42条

資料 広島県PTA連合会会則

3 報告事項等

(1) 日本PTA全国協議会関係

(2) 保険会議報告

小・中学生総合保障制度の保険料が、コロナにより支払保険金が多かったため、来年度の割引率が下がる。

(3) 日P広島大会進捗状況報告

①会計

まだ支払いが完全に済んでいないため、確定の決算書(案)ではない。約200万円余剰金が出る見込み。

解散式費用も計上して最終決算書を作成するが、11月末まででいったんしめて補助金報告する。日本PTAでは2月に最終の会計監査が予定されているので、1月末でしめたものを日本PTAには報告することになる。

②記録誌

9月の理事会において、記録誌に掲載する写真を各会のリーダーが10枚程度選定し、県P事務局へ提出することになっていた。

まだ提出のない次の分科会は、10月25日までに県P事務局へ提出のこと。提出が難しい場合は、大会HP掲載写真を活用させていただきます。

第2(柏崎)

(4) 渉外報告

①橋本会長:広島県発明協会の審査会に出席した。

4 主な協議・確認事項

(1) 経過報告と予定

①三役会・理事会・委員会の日程変更について (P 1～2)

- ・ 令和6年2月22日(木)は開催しない。
→ (結論) 挙手多数により承認
- ・ 広島大会実行委員会は今後開催しない。理事会の中で役割分担等協議する。
特別協力委員には解散式の役割をふらない。
→ (結論) 挙手多数により承認

(2) 各委員会報告 (P 3)

①総務委員会

- ・ 県P連の活動について、会員に対し開かれた形にしたい。
県P連理事会のライブ配信を実施してはどうか。
県P連理事会議事録を県PのHPに掲載してはどうか。

②教育研修委員会

- ・ 令和6年度会長研修会
- ・ 令和6年度第50回広島県PTA研究大会

③広報委員会

- ・ 県P新聞

(3) 令和6年度広島県PTA連合会 会長研修会について (P 4)

①講師(高杳さん)依頼の進捗状況

- 高杳さんに講演を引き受けていただいた。
県P事務局から高杳さんの事務所に対し、演題や金額交渉しているところである。

②日程の確認と内容協議

ア 広報紙コンクール表彰式

- (結論) 次のことについて、挙手多数により承認
・ 表彰式は開催することとし、受賞校には、表彰式の案内をする。

イ 講演

- ・ 演題や謝金、旅費は、高杳さんに確認中。

ウ グループディスカッション

(意見)

- ・ 教育研修委員会では、小規模校と大規模校に分けたらどうかという案が出ていた。
- ・ 小・中別には分かれるが、当日、会場で、プラカードに学校の児童・生徒数〇〇人以上、〇〇人未満等に立てて、参加者に分かれてもらうことにしたらどうか。本人の自己責任で選択させればいいのか。
- ・ 小規模校、大規模校、どちらでもよいのアンケートをとればいいのか。
- ・ 小規模校と大規模校には分けて、今までどおりとすることを本日の理事会に提案する。
- ・ 小規模校と大規模校に分ける場合、線引きをどうするか。
- ・ アンケートに小規模校と大規模校に分けてほしいという意見があったからといって、すべての意見を吸い上げるわけにはいかない。
- ・ 講演の話をもメインにするグループもあれば、誰か悩み事等を発言した人がいるグループは、その話メインになる。その時々で、またグループによって話す内容は異なるので、小規模校と大規模校に分かれた方がいい人と分かれる必要のなり人がいる。

(結論)

- 本日の教育研修委員会で再検討する。

(4) 令和6年度県P連事業・会議予定(案) (P5)

確認しておいていただく。

(5) 令和6年度研究大会参加依頼数等

① 参加依頼数 (P6)

・日本PTA全国研究大会(川崎)

・日本PTA中国ブロックやまぐち大会

12月1日臨時中国ブロック協議会において、山口県Pから対面開催だけでなく、オンライン併用を提案する可能性がある。例年どおり、対面開催の場合で算出したが、12月1日以降最終決定となる。

② 研究大会担当郡市等一覧 (P7)

・広島県PTA研究大会実践発表について

・日本PTA国際交流・国内研修事業について

・今後の中国ブロック大会広島県大会について

広島県で開催される直近は令和11年度の予定である。

(6) 広島県PTA研究大会の形式変更提案 (P8)

① 要項の内容変更について

・主催者あいさつ、来賓祝辞なしで、冊子から2つ折り等の簡素化する。

・実践発表原稿は、実践発表団体におまかせする。なしでいいし、A4ー1枚程度に変更するか、パワーポイント資料を配布希望の場合は配布する程度にする。

・大会宣言は、県Pの基本方針、活動目標にのっとったものにする。総務委員会が原案作成する。

(結論) 挙手多数により承認

(7) 県P創立75周年記念事業について

① 表彰状の文案 (P9)

② 表彰推薦について(各郡市P宛) (P10~16)

③ 記念誌の原稿提出のお願い(各郡市P宛) (P17~18)

(結論) ①~③について確認

(8) 広島県PTA連合会功労者表彰について(各郡市P連宛) (P19~24)

毎年、各郡市P連に送付しているものだが、今回は、他の事業との兼ね合いで、早めに送付させていただく。

(9) 第71回日本PTA全国研究大会広島大会実行委員会解散式(案)について

① 解散式等の変更(案)について (P25~26)

ア 開催時間の変更について

県教委に打診したら、勤務時間以降の飲食でないと参加できないと言われたので、(案1) 17:00~19:00でないと受付してもらえない。

イ 内容の変更案

日本PTA作成広島大会ダイジェスト版視聴は、日本PTAが作成したものを活用する。

(結論) 17:00~19:00で、解散式とレセプションを一緒のものとして開催することと内容について、挙手多数により承認

ウ 感謝状被表彰者の個人の部は、(案2) 実行委員長、特別協力委員のみとし、感謝状の差出人は、広島県P連会長の単独とする。

エ 会場内の横看板は、(案1) の文字のみで作成する。

解散式までは全国大会費用として計上できるか日本PTAに確認する。

全国大会費用として計上できるなら作成したらよい。

(結論) 感謝状被表彰者の個人の部と会場内の横看板については、挙手多数により承認。

② 感謝状授与規定(案) (P27)

赤字のとおり内規を追記する。

(10) 広島県読書推進運動協議会表彰

呉市P連から1校しか推薦がなかったため、この1校を広島県P連から推薦する。

5 連絡事項

(1) 広島県PTA団体保険支払い実績表(報告・確認) (P28)

(2) 第6回三役会・理事会等案内 (P29)

6 回覧

(1) 令和5年9月三役会・理事会記録

(2) 各委員会記録

7 配布資料

8 その他

9 閉会(名古屋副会長 挨拶)